

今期における協議項目案について

資料 1

項目	提案党派	内容
議員の責務及び政務活動等に関すること		
市民の負託に応える公人としての責務について		
① 議員の責務について	正副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市長への政策要望や政調会等の議員活動に関する市民の認知度向上 ・効果的な行政視察の在り方（効果的な視察先の選定や回数等）
議員の権利や政務活動関係		
② 時代に即応した議員定数の適正化	熊本自民	過去の定数の見直し議論の中でも任期ごとに議員定数の在り方について議論し検討していくべきとされており、国勢調査後に関わらず、選挙ごとに全体の定数や各行政区の割り当てを検討すべきではないか。
③ 議員活動に関する費用の在り方について	正副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な政務活動費の活用のため「政務活動費運用の手引き」の見直しについて検討 ・多様な人材の議会への参画促進のため報酬や費用弁償等の在り方について検討
開かれた議会の取組に関すること		
市民の議会への理解促進関係（広報・広聴含む）		
④ 若年層への広報・興味醸成	自民党	高校生議会の開催や広報委員会で実施する交流会など、さらなる取組を実施してはどうか。
⑤ 高校生・大学生議会の開催	市民連合	若者の政治や議員への理解促進や主権者教育を推進するため、現在の中学生議会に加え、位置づけ・意義・内容を精査し、幅広く展開してはどうか。
議会情報の発信及び共有について		
⑥ 市議会動画配信のさらなる効果発揮	市民連合	本会議及び委員会の動画配信については、市民の認知度が十分ではないと思われるので、認知度向上の取組を強化してはどうか。（TV広報／告知の活用を検討）
議会運営関連		
会議関係		
⑦ 一般質問時間の公平性の確保	自民党	障がいや怪我等の理由により発言時の移動に時間がかかる場合、時間の公平性を保つために何らかの対応が取れないか。
⑧ 常任委員会の分散開催	熊本自民	他の委員会等の審議過程についても傍聴可能とするため、同日に一斉開催されている分科会・委員会を3委員会ごとに分け、別日程で開催してはどうか。
⑨ 本会議におけるタブレットを活用した資料配布	市民連合	本会議におけるタブレットを活用した資料配付について、運用や会議録への記載方法などのルール作りを行い、実施してはどうか。
⑩ 録画配信の即日公開	市民連合	数日遅れて公開されている本会議や委員会等の録画配信について、当日に視聴できるよう改善できないか。
⑪ 動画配信におけるモニター字幕の表示	市民連合	本会議及び委員会中継において、議事や質問・質疑内容の可視化（モニター字幕）を図り、視聴者の理解度を高める。
⑫ 一般質問での執行部提示内容の拡充	公明党	答弁すり合わせの際、文字数及び担当課について一律記載を行う。
⑬ 議場における言論の在り方について	正副会長	国会議員については日本国憲法第51条に基づき「免責特権」を有しているが、地方議員の議場における言論の自由についての議論
⑭ 夜間・休日議会の開催について	議会局	市民に身近で開かれた議会を目指す取組として、昼間や平日に仕事等により傍聴できない方にも、議会を知ってもらえる機会を増やし関心を高めることで、議会の活性化につなげるため、夜間・休日（土曜、日曜を含む）の議会開催について検討するもの
⑮ オンラインを活用した本会議・委員会の運営について	議会局	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省より通知のあったオンラインによる会議の開催方法について ・本会議への出席が困難な欠席議員によるオンラインでの質問実施について ・委員会への出席が困難な事由として、コロナに限って運用されているオンラインによる出席事由の見直し等について ・オンラインによる参考人からの意見聴取について
その他議会に関すること		
⑯ ペーパーレス化後の資料閲覧	熊本自民	議会資料のペーパーレス化推進のため、タブレットで過去の議会資料（委員会説明資料含む）を遡って閲覧できるようにすべき。（現在のSideBooksには過去1年程度しか保存されていない）
⑰ LINE WORKS使用範囲の拡充	公明党	議連活動の効率化や情報共有の迅速化のため、LINE WORKSの現状の使用範囲に加えて、議員連盟に関する使用も追加してはどうか。
⑱ 議長の職務権限の明確化について	正副会長	議長の職務権限の明確化について（規定等に定めのない微細な事項、会派間の意見調整、正副議長不在時 等）